**場所・面積**

鳥取県八頭郡八頭町、16.4ha

**管理目的**

農作物生産や耕作放棄地解消などの農業的側面及び、地域の生物多様性保全や環境教育へ貢献することを目的。

**サイト概要**

鳥取県八頭町に位置する中山間地域から平野部にかけての水田地帯と周辺の放牧地や里山。特に中山間地域の保全区域は、希少な両生類や昆虫類、植物など、それぞれの場所の生物相に合わせ重点的な保全を実施している。また、平野部の上流側の水田地帯に無農薬田を拡大し、圃場内部に年間を通して水が残る水路を造成するなどし、生物に配慮した形での農業に取り組んでいる。加えて、慣行農法が行われている場所では休耕田ビオトープを設け、生息地の代替を行っている。

また、これらの保全区域は観察会や自然体験イベント、田植え体験などのレクリエーションや環境教育に活用している。

**土地利用の変遷**

水田として利用されてきた他、耕作放棄に伴い、船岡農場が土地を借用し、水田や放牧地として活用している。また水田復帰が難しい場所では、鳥取県地域教育推進局と連帯して、ビオトープ化を行なっている。

**サイト周辺の環境**

鳥取県八頭町(旧船岡町)に位置する中山間地域から平野部にかけての水田地帯。周辺はスギ・ヒノキ人工林やクヌギなどの雑木林が広がっている。
船岡農場が耕作地を維持しているため耕作放棄地は周辺地域に比べると少ないが、増加傾向にある。

**アピールポイント**

中山間地域の保全区域はビオトープ、水田ともに希少な両生類の産卵場所になっている他、鳥取県東部に分布する止水性の両生類全種を確認している。また希少な水生昆虫が利用している。水生植物は、ビオトープ化の際にシードバンクからキクモや車軸藻類などが再生した他、谷奥には鳥取県の希少な植物が生息している。トビやフクロウなどの猛禽類、サギ類、コウノトリなどの大型鳥類も餌場として活用している。放牧地の草原や周辺の里山に隣接した農道にはトラノオスズカケなどの里山植物が自生しており、イシガケチョウをはじめ３0種の蝶も生息している。

**生物多様性の価値**

# 価値（3）里地里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場

**【場の概況】**

坂田の里地里山

水田やビオトープ、溜池などの湿地生態系、放牧地や里山に隣接した農道などの草原生態系、スギ・ヒノキ人工林、雑木林が連続的に存在している。水田内には常に水が残る水路が設けられ、上流のビオトープでは生物多様性保全を重点的に行っており、鳥取県東部の止水性両生類は全て確認している。放牧地と里山林縁を中心にスミレの仲間や希少な里山植物が繋茂し、30種近い蝶が利用している。

【主な植生】

牧草地の主な植生はススキである

湿地環境の主な植生はミズハコベ、車軸藻類などである。

**【確認された主な動植物】**

草地、里山林縁：主に希少な植物１種が生育している。

湿地、溜池　　：主にコウノトリ（Ciconia boyciana）のほか、希少な両生類1種や昆虫類３種、植物２種が生育している。

写真の撮影年月：2022年9月4日
写真の説明：ビオトープの様子

**生物多様性の価値**

# 価値（3）里地里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場

**【場の概況】**

船岡殿の水田地帯
水田、休耕田ビオトープなどの湿地環境、周辺にはスギ林、林縁の草原植生が見られる。水田と森林が隣接しているため、水田上部の木にモリアオガエルが産卵する。その他希少な植物なども生育している。

**【主な植生】**

周辺の植生は主にスギ人工林である
湿地環境にはスゲ、イグサ、セリが多い。

**【確認された主な動植物】**

草地、林縁　：トラノオスズカケ（Veronicastrum axillare）
水田、湿地　：アカハライモリ（Cynops pyrrhogaster　成体・幼体）
　　：ミズカマキリ　（Ranatra chinensis　成体・幼体）
　　：ニッポンイヌノヒゲ　（Eriocaulon taquetii）
このほか、希少な両生類１種と昆虫類３種、植物１種が確認された。

写真の撮影年月：2023年4月13日
写真の説明：休耕田ビオトープの様子

**生物多様性の価値**

# 価値（3）里地里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場

**【場の概況】**

見槻の水田地帯
耕作放棄地から再生したビオトープ、水田がモザイク状に点在し、溜池や雑木林、草原が連続的に広がっている。

**【主な植生】**

草地は主にスゲ、ススキ、イグサが繁茂している。
湿地環境はサワオグルマ、コナギ、イグサが繁茂している。

**【確認された主な動植物】**

草地、林縁　：カヤネズミ（Micromys minutus　成体・幼体）
　　：フクロウ（Strix uralensis 成体）

水田、湿地　：アカハライモリ（Cynops pyrrhogaster　成体・幼体）
　　：ミズカマキリ（Ranatra chinensis　成体）
　このほか、希少な両生類１種と昆虫類３種、植物２種が確認された。

写真の撮影年月：2023年4月1日
写真の説明：対象サイトのビオトープと水田

**生物多様性の価値**

# 価値（3）里地里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場

**【場の概況】**

船岡の水田地帯
生物多様性の再生を目指し池干しの再開、有機栽培への転換が進められている他、素掘りの水路を造成し、生物多様性保全に貢献している。また生産した有機栽培米は2023年からふるさと納税の返礼品にも活用する。

**【主な植生】**

湿地環境はセリ、コナギが繁茂している。

**【確認された主な動植物】**

水田、湿地　：アカハライモリ（Cynops pyrrhogaster　成体）
：コガムシ（Hydrochara affinis　成体）
：ヒメガムシ（Sternolophus rufipes　成体）
：コシマゲンゴロウ（Hydaticus grammicus　成体）
：ミズカマキリ (Ranatra chinensis　成体)
：ニシシマドジョウ（Cobitis sp.BIWAE type B）

このほか、希少な昆虫類３種と魚類１種が確認された。

写真の撮影年月：2023年4月6日
写真の説明：有機水田と素掘りの水路

写真の撮影年月：2022年7月2日
写真の説明：ニシシマドジョウ

## サイトの管理計画・モニタリング計画

| 管理計画の内容 | モニタリング計画の内容 |
| --- | --- |
| **【管理計画の内容】**<br>坂田の里地里山<br>シカの食害対策<br>防獣柵や、希少植物周辺をネットで囲むなどの獣害対策を行う。<br><br>アメリカザリガニの駆除<br>溜池にアメリカザリガニが生息しているため、３月から１１月にかけて罠を用いて継続的な駆除を行う。また３月から１１月にかけてモニタリング調査を行い、アメリカザリガニの増減や生物相の把握を行う。<br><br>ビオトープや水田環境の維持<br>湿地環境の維持のために、両生類の産卵が始まる前の冬季に泥上げや畔修理を行う。<br><br>年間を通して草刈りや倒木の撤去を行い、里地里山の維持を行う。 | **【モニタリング対象】**<br>魚類、両生類、水生植物、水生昆虫<br><br>**【モニタリング場所】**<br>ため池、ビオトープ<br><br>**【モニタリング手法】**<br>たも網、投網、罠を用いる<br><br>**【実施時期及び頻度】**<br>３～１１月頃、月１回<br><br>**【 実　施　体　制 】**<br>鳥取県地域教育推進局環境部MIZUNOBAに参加している学生と行う。 |

## サイトの管理計画・モニタリング計画

| 管理計画の内容 | モニタリング計画の内容 |
| --- | --- |
| **【管理計画の内容】**<br>船岡殿の水田地帯<br>休耕田ビオトープの環境を維持する。両生類の産卵が始まる前の冬季に遷移阻止のための泥上げや草刈りを行う。<br><br>両生類の産卵に配慮し、冬から春にかけてはコンクリート水路に水を流さず休耕田ビオトープに希少な両生類を誘導する。また泥上げ等の作業も同時期実施する。<br><br>年間を通して草刈りを行い、耕作地環境の維持を図り、降雪後の倒木竹の撤去を行う。 | **【モニタリング対象】**<br>水生植物、水生昆虫、両生類<br><br>**【モニタリング場所】**<br>休耕田ビオトープ<br><br>**【モニタリング手法】**<br>タモ網<br><br>**【実施時期及び頻度】**<br>春の希少な両生類の産卵期と水生昆虫が増える夏の年二回<br><br>**【 実　施　体　制 】**<br>鳥取県地域教育推進局環境部MIZUNOBAに参加している学生と行う。 |

## サイトの管理計画・モニタリング計画

| 管理計画の内容 | モニタリング計画の内容 |
| --- | --- |
| **【管理計画の内容】**<br><br>見槻の水田地帯<br>冬場の生物に影響が少ない時期にビオトープや水路の泥上げや畔の修理などを行う。<br><br>防獣柵や電柵の設置を行い、獣害対策に努める。また定期的に草刈りを行い、水田環境の維持を行う。<br><br>水田において、無農薬、化学肥料不使用の自然栽培を行い、観察会などの体験活動も行いながら生物に配慮した管理を行い、冬水田んぼも実施する。 | **【モニタリング対象】**<br>水生昆虫、水生植物、魚類、両生類<br><br>**【モニタリング場所】**<br>ビオトープ、水路<br><br>**【モニタリング手法】**<br>タモ網<br><br>**【実施時期及び頻度】**<br>希少な両生類の産卵後の春と利用種が増加する夏季の年二回<br><br>**【 実　施　体　制 】**<br>鳥取県地域教育推進局環境部MIZUNOBAに参加している学生と行う。 |

## サイトの管理計画・モニタリング計画

| 管理計画の内容 | モニタリング計画の内容 |
| --- | --- |
| **【管理計画の内容】**<br>船岡の水田地帯<br>年間を通して草刈りを行い、水田環境の維持を行う。<br><br>水田において有機栽培を実施し、水生生物の生息に適した環境を維持する。また避難水路などを活用し、年間を通して完全に水が失われないような水管理を行う。<br><br>冬季に池干しや周辺の木の伐採を行い、水生植物をはじめとした生物多様性の再生を図る。 | **【モニタリング対象】**<br>水生昆虫、水生植物、魚類、両生類<br><br>**【モニタリング場所】**<br>水田周辺<br><br>**【モニタリング手法】**<br>タモ網<br><br>**【実施時期及び頻度】**<br>３～１１月にかけて、2か月に１回程度の計４回<br><br>**【 実　施　体　制 】**<br>鳥取県地域教育推進局環境部に参加している学生と行う |